

ことわざの型とかたち

ことわざは俳句と同じ短詩系の文芸です。5・7・5という決められた型(かた)はありませんが、「口調よく意味が伝えられる短句」というおおらかな形(かたち)に集約できるでしょう。形という個性を尊ぶ創作ことわざは、今や短詩文芸の一翼を担うまでに成長を遂げています。

1、リズムがよい…滑らかである

ことわざが記憶術になり得るのはリズムがよいからです。「山高きが故に貴(たつ)からず」は9音と5音、「山より大きな猪は出ぬ」は13音と2音。「水を得た魚」は5音+2音、「逃がした魚は大きい」は8音+4音など、いずれもリズムよく組み合わせられています。

2、短い…無駄がない

「月と鼈(すっぽん)」や「提灯に釣鐘」は対比が面白く、しかも名詞で終わる「体言止め」によってキレ味があります。「井の中の蛙大海を知らず」は文語調のうえに助詞の「は」が省かれ、上の句である「井の中の蛙」のみでも通用するなど、短縮法のモデルと言ってもよいでしょう。

3、意味がある…筋が通っている

「玉磨かざれば光なし」は真正直な人生訓。悪事を意味した「断じて行えば鬼神もこれを避く」は、今では善悪両方の意味で用いられています。最初は分からなくても、筋をたどると笑えて納得できるのが「風が吹けば桶屋が儲かる」。「犬が西向きゃ尾は東」は当たり前過ぎて滑稽です。

—これで「ことわざの3本柱」が整いました—

山口 政信
日本ことわざ文化学会理事



山口 政信(やまぐち まさのぶ)
明治大学名誉教授。スポーツ言語学会会長、日本笑い学会理事。東京教育大学体育学部卒業、東京学芸大学大学院教育学研究科修了。日本陸上競技選手権大会・メキシコ五輪最終選考競技大会6位(400mH)。
『スポーツに言葉を』(単著、遊戯社)、『世界ことわざ比較辞典』(共監修、岩波書店)、『陸上競技(トラック)』(共著、不昧堂出版)、『笑いのことわざ』(共編著、人間の科学社)、『子どもことわざは真実を語る—ことわざの叢智を小学4年生に教える—』(共訳、創英社/三省堂書店)など。
映像著作:(瀬古利彦の理走シリーズ、構成と出演) ①「ジョギングへの招待」 ②「ジョギングの実践」。



エコとわざ創りのイロハ

エコとわざへの期待は、今の状況をよく見ること、そしてそれを解決する方法や未来の健康的な環境づくりを提案することにあります。そこでまずは、エコとわざ創りの手順について述べます。

- 1、エコに関する直観を大切に、駄作をいとわず多作を心がけましょう。
- 2、「近からず遠からず」の関係にある何かを結び、意外性が表現できると面白くなります。
- 3、無くて意味が通じる文字を削り、すっきりした句づくりを目指しましょう。
- 4、リズムがとれない時は、助詞を省き言葉の順序を入れ替え、他の言葉を探してみてください。
- 5、まとまったら声に出して読み返し、つかえるところがあれば根気強く修正しましょう。
- 6、淀みなく読めたなら、あなたは立派な「エコとわざ作家」であり、エコ活動の実践者です。

次に、イメージがふくらむよう、学生さんの創作ことわざを論評してみましょう。

- A、「ボールと魚はすばやく切れ」…キーワードは「切る」、結び付けたモノは「ボール」と「魚」です。命令形がキレを生み、卓球と料理の極意を的確に印象付けています。
- B、「先生の技術は省エネ」…上手い人の所作には力み・迷いといった無駄がありません。この勘どころを鋭く見抜いた作者は、何においても上手くなる可能性を秘めています。

最後に、ことわざ創りの思考技法を「わざ言語」風のイロハにまとめてみました。これらを下敷きにしたわたしの創ったみんなのことわざによって、エコの輪が広がることを祈っています。

- イ、ひらめきを 脳裏に残せ キーワード
- ロ、語呂も口調も よいように 短縮入れ替え 捻り技
- ハ、声に出し 何度もなんども 読み返し 聞いてもらおう 近くの人に

